

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	市民	快適な道路通行
現状・課題	産業活動の基盤となる道路整備	
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	市道の整備を図る
事務事業概要	地域の産業経済の発展に重要な役割を担う、幹線道路の整備を図る。	
令和３年度 の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	市道岩船中央線	歩道改良工事 L=260m
	市道中野５号線	用地補償業務 一式
	市道米山線	道路改良工事 L=154m

事業コスト	項 目		単位	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	予算額	当初予算	円	196,600,000	197,780,000	329,680,000
		補正・流用等	円	86,152,000		—
		合計	円	282,752,000	197,780,000	329,680,000
	決算（見込）額 A		円	88,752,400	197,780,000	—
	財源内訳	国庫支出金	円	43,891,503	91,500,000	152,500,000
		県支出金	円			
		市債	円	23,900,000	87,000,000	153,100,000
		その他特定財源	円			
	R2は予算額	一般財源	円	20,960,897	19,280,000	24,080,000
	正規職員数		人	1.48	2.14	2.14
	人件費 B		円	9,534,160	13,845,800	18,887,640
総事業費 A + B		円	98,286,560	211,625,800	348,567,640	
市民 1 人当たりコスト		円	2,310	4,992	8,273	

成果指標	アウトカム	方向		令和元年度		令和２年度		令和３年度	
市道岩船中央線		累計	目標	63.0	%	100.0	%	100.0	%
			成果	45.0	%	70.0	%	—	
市道中野５号線		累計	目標	—	%	3.1	%	26.0	%
			成果	—	%	2.3	%	—	
成果指標と目標値を設定した理由	安全で快適な道路交通の確保を図るため。								

令和3年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	国の内示率が低いことから、予算配分を考慮し優先順位をつけながら、効率的な事業の進捗に努める。						

事務事業名	幹線道路整備事業	部・局	建設水道部
		課・室	道路河川課
		係	土木係

[illegible]